
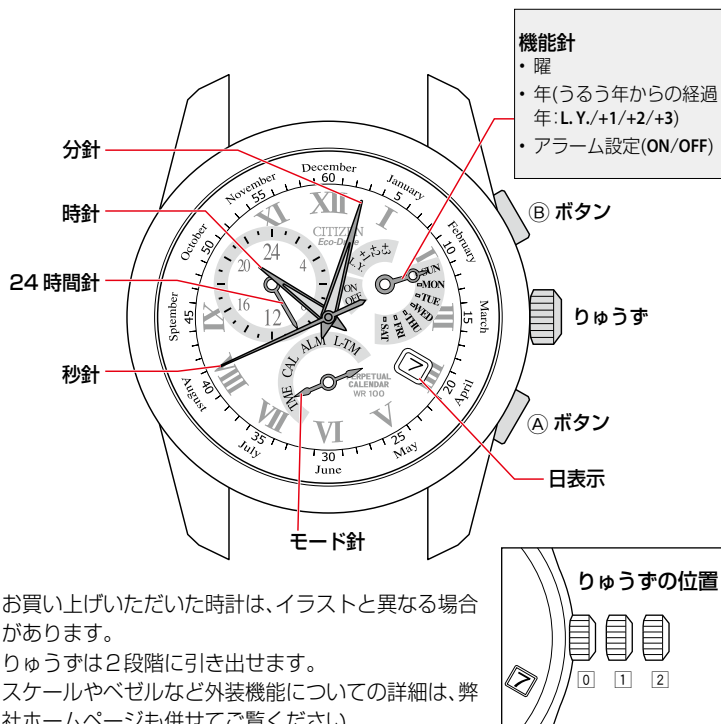


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  E870 取扱説明書

## 各部の名称



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- りゅうずは2段階に引き出せます。
- スケールやベゼルなど外装機能についての詳細は、弊社ホームページも併せてご覧ください。  
(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)

## モードを切り替える

この時計には、次の4つのモードがあります。

TME	通常の時刻が表示されます。
CAL	カレンダーが表示されます。秒針が月を指し、機能針が曜を指します。 ・ ③ボタンを押している間、機能針がうるう年からの経過年(L.Y./+1/+2/+3)を指します。経過年について詳しくは、 <a href="#">カレンダーを合わせる</a> をご覧ください。
ALM	アラーム時刻が表示されます。
L-TM	ローカルタイムが表示されます。 ・ 日表示と曜は、[TME]の表示時刻に従います。

- りゅうずの位置を ① にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- りゅうずを回して、モードを切り替える  
・ モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。
- りゅうずの位置を ② にして、終了する  
時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。  
・ 表示の切り替えに時間がかかる場合があります。

## 時刻を合わせる

モードが[TME]のときの時刻を合わせます。

- [L-TM]の時刻は、[TME]との時差に応じて修正されます。

- モードを [TME] にして、りゅうずの位置を ② にする  
秒針が0秒を指して停止します。
- りゅうずを回して、時刻を合わせる  
・ 時針/分針/24時間針は連動します。  
・ 午前/午後は、24時間針で確認します。  
・ りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 時報に合わせて、りゅうずの位置を ① にして終了する

## カレンダーを合わせる

モードが[TME]のときのカレンダーを合わせます。

- モードを [CAL] にして、りゅうずの位置を ② にする  
秒針が月を指し、機能針が経過年を指します。
- ③ ボタンをくり返し押して、合わせる針 / 表示を選ぶ  
・ ③ ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。  
・ 年 → 月 → 日 → 曜 → (始めに戻る)
- りゅうずを回して、針 / 表示を合わせる  
・ 年は、下表を参考に、うるう年からの経過年数を設定します。

年				機能針の表示	経過年数
2016	2020	2024	2028	L.Y.	0 (うるう年)
2017	2021	2025	2029	+1	1
2018	2022	2026	2030	+2	2
2019	2023	2027	2031	+3	3

- うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。  
(<http://citizen.jp/cs/guide/leapyear/index.html>)
- 日表示は、機能針が4回転すると切り替わります。

- 手順 2 と 3 をくり返す
- りゅうずの位置を ① にして、終了する

## ローカルタイムを設定する

モードが[TME]のときの時刻に対して、1時間単位の時差を設定し表示させることができます。

- 時差は、[TME]の時刻に対して±23時間の範囲で設定できます。

- モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ② にする  
ローカルタイムが表示されます。
- りゅうずを回して、時針を合わせる  
・ 時針は1時間ごとに動き、24時間針も連動して動きます。  
・ りゅうずを素早く回転させると、針が連続して動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- りゅうずの位置を ① にして、終了する

## 基準位置を確認する

- 1 モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ① にする
- 2 ② ボタンを 10 秒間以上押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。移動が始まったら、ボタンを離します。
- 3 基準位置を確認する  
正しい基準位置は次のとおりです。
  - ・ 時針/分針/秒針の位置: 0時00分00秒
  - ・ 24時間針: 「24」
  - ・ 日表示の位置: 「1」
  - ・ 機能針の位置: 「SUN」
- 4 ③ ボタンを押して、終了する  
ボタンを押さなくても、何もしないまま2分間経過すると、自動でローカルタイムの表示に戻ります。



基準位置がずれているときは、**基準位置を修正する**の手順3に進みます。

## 基準位置を修正する

- 1 モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ① にする
- 2 ② ボタンを 10 秒間以上押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。移動が始まったら、ボタンを離します。
- 3 りゅうずの位置を ② にする
- 4 ③ ボタンをくり返し押して、修正する針 / 表示を選ぶ
  - ・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。  
秒針 → 時針/分針/24時間針 → 機能針/日表示 → (始めに戻る)
  - ・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
- 5 りゅうずを回して、針 / 表示を修正する
  - ・ 時針/分針/24時間針は連動します。
  - ・ 日表示は、機能針が4回転すると切り替わります。機能針は、日表示が「1」になった直後の「SUN」に合わせます。
  - ・ りゅうずを素早く回転させると、針/表示が連続して動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 6 手順4と5をくり返す
- 7 りゅうずの位置を ① にして、終了する

## オールリセットを行う

- 1 モードを [L-TM] にして、りゅうずの位置を ② にする
- 2 ④ ボタンと ③ ボタンを同時に押して、離す  
ボタンから手を離すと、操作音が鳴り、オールリセットが行われます。

オールリセット後の各設定	
[TME]の時刻	午前0時00分00秒
[L-TM]の時刻	[TME]との時差0時間
カレンダー	うるう年の1月1日曜日
アラーム設定	「OFF」
アラーム時刻	午前0時00分

### オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせて、時刻とカレンダーを合わせ直してください。